

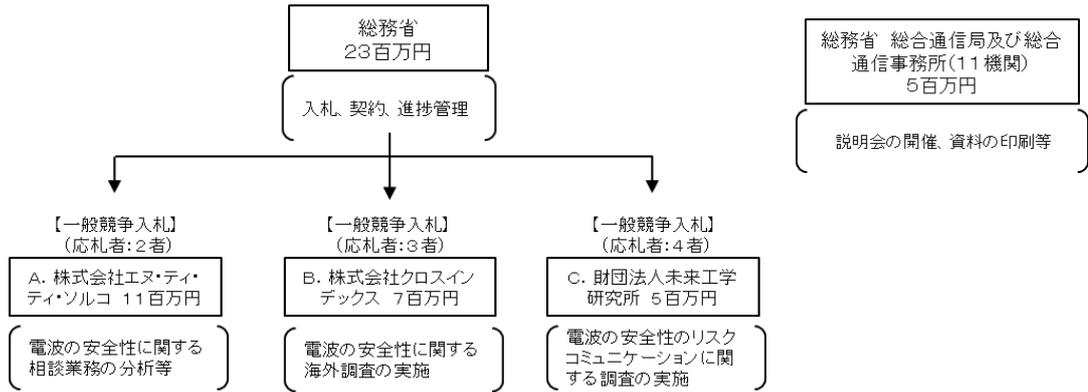
平成23年行政事業レビューシート (総務省)

事業名	周波数の使用等に関するリテラシーの向上		担当部局	総合通信基盤局電波部		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度～		担当課室	電波環境課、監視管理室		課長 丹代 武 室長 星 克明	
会計区分	一般会計		施策名	V-5 電波利用料財源電波監視等の実施			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	電波法第103条の2第4項第10号 総務省設置法第4条第71号		関係する計 画、通知等				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	近年、携帯電話の普及や新しい無線システムの実用化など電波利用の急速な拡大に伴い、人々が日常的に電波を利用する機会が増加しており、電波の公平かつ能率的な利用の確保や電波による健康への影響について、国民の関心が高まっている。このため、これまで以上に、わかりやすい形での情報提供を図ることにより、電波の公平かつ能率的な利用の確保や電波の安全性に関する国民のリテラシー向上を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	(1)電波が人体や医療機器等に与える影響について、これまでの各種調査によって得られた知見等を、説明会の開催、説明資料等の作成等により、さまざまなニーズに応じた情報提供を行うとともに、国民からの問い合わせ等に対応。 (2)民間ボランティア(電波適正利用推進員)に、地域社会に密着した立場を生かした電波利用に関する情報提供活動及び相談・助言業務を委託することにより、地域社会の草の根から、電波の公平かつ能率的な利用を確保する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予 算 の 状 況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	0	0	0	
		繰越し等	-	0	0	0	
		計	-	234	242	201	200
	執行額	-	155	135			
	執行率(%)	-	66.2%	55.8%			
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	電波の公平かつ能率的な利用の確保や電波による健康への影響について、国民に対してわかりやすい形での情報提供を図るものであり、定量的な指標を示すことは困難。		成果実績	-	-	-	-
			達成度	%	-	-	-
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	(1)電波の安全性に関する説明会の開催回数	活動実績 (当初見込み)	回	-	(1)25回 (2)周知啓発活動 :2,641件 参加人数 :80,227人	(1)22回 (2)周知啓発活動 :892件 参加人数 :32,108人	-
	(2)電波の能率的な利用の確保等に関する周知啓発活動の実施件数			-			()
単位当たり コスト	(1)	約27(万円/回)	算出根拠 (1) (平成22年度の電波の安全性に関する説明会の費用) / (説明会回数)				
	(2)	約3,500(円/人)	(2) 電波適正利用推進員制度の運営経費(112百万円) / 周知啓発活動のイベント等への参加人数(32,108人) = 約3,500円				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	諸謝金	1	1	平成24年度要求額は電波の安全性に関する説明資料の印刷等の見直しにより、経費の節減に努めた。			
	電波監視等業務旅費	4	8				
	委員等旅費	0.2	2				
	電波監視等業務庁費	196	188				
計	201	200					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	一般競争入札により、必要経費が低く抑えられたため、不要率が高くなっている。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		電波法第103条の2第4項10号事務として「電波の能率的な利用を確保し、又は電波の人体等への悪影響を防止するために行う周波数の使用又は人体等の防護に関するリテラシーの向上のための活動に対する必要な援助」が挙げられており、国民からのさまざまなニーズに応じた情報提供を行うために必要な事業である。 総務省ホームページ上に電波の安全性に関する情報やパンフレットを掲載するとともに、全国各地で電波の安全性に関する説明会を年間22回程度開催し、これまで約16,000名が聴講している。また、電波適正利用推進員が実施した平成22年度の周知啓発活動件数は892件であり、約32,000名が説明を聴講している。 業務内容を見直すことにより、業務の効率化を進めるとともに、一般競争入札における競争性の向上を図り、予算執行の効率化を進めている。	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		さらなる経費の効率化を図るべき	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
予算監視・効率化チームの所見を受けて、平成24年度要求額は電波監視等業務庁費の見直しにより平成23年度予算額よりも縮減。さらに予算執行の段階においても効率的かつ効果的な事業の実施に努めて、成果をあげていく方針。			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			
第169回国会（平成20年）の電波法審議において、電波に関するリテラシーの重要性にかんがみ、電波法第103条の2第4項第10号に新たに「電波の能率的な利用を確保し、又は電波の人体等への悪影響を防止するために行う周波数の使用又は人体等の防護に関するリテラシーの向上のための活動に対する必要な援助」が追加・修正され、両院において全会一致で可決。このため、施策としての予算計上は平成21年度から行っている。			

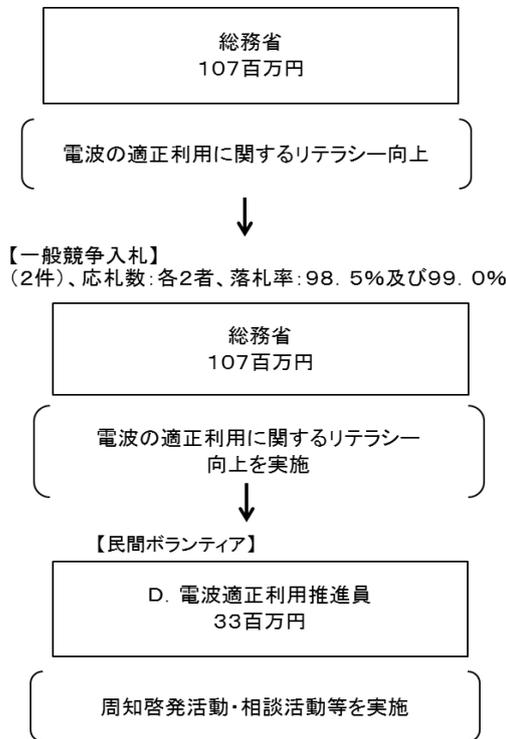
※平成22年度実績を記入

(1) 電波の安全性に関するリテラシーの向上



(2) 適正利用推進員制度運営

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出され
 ている者について記載す
 る。費目と使途の双方で
 実情が分かるように記
 載)

A. 株式会社エヌ・ティ・ティ・ソルコ			E. 電波適正利用推進員		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
分析費	電波の安全性に関する相談業務の分析等	11	旅費	研修・会議等参加に要する旅費	26
			その他	消耗品費・通信費等の活動実費	9
計		11	計		35
B. 株式会社クロスインデックス			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	電波の安全性に関する海外調査	7			
計		7	計		0
C. 財団法人未来工学研究所			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
調査費	電波の安全性のリスクコミュニケーションに関する調査	5			
計		5	計		0
D. 株式会社協和エクシオ			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	業務経費	72			
その他	推進員活動費	35			
計		107	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社エヌ・ティ・ティ・ソルコ	電波の安全性に関する相談業務の分析等	11	2者	49.4%

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社クロスインデックス	電波の安全性に関する海外調査	7	3者	62.0%

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	財団法人未来工学研究所	電波の安全性のリスクコミュニケーションに関する調査	5	4者	67.8%

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社協和エクシオ	電波適正利用推進員の活動に係るサポート業務	61	2者	98.5%
2	株式会社協和エクシオ	電波適正利用推進員協議会の開催事務	46	2者	99.0%